

2022年2月20日

2021年度稲門会総会ご挨拶

稲門会会長 志賀 勉

合掌 春寒の候、コロナ感染まん延の中ではありますが、皆様ご健勝のことと存じます。日頃、稲門会活動に関しましては、多大なご協力を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、2021年度は、コロナに明け暮れた1年でしたが、大学当局や競技スポーツセンターからの体育各部に対する様々な制約がある中、少林寺拳法部の現役部員の皆さんは厳しい制約を遵守し感染者を出すことも無く、全日本学生大会は女子総合優勝や、早慶戦でも本戦は惜しくも敗れましたが新人戦での勝利等次年度に繋げる活動を着実に取り組んでいます。

また、稲門会では初めてスポーツミュージアムでの少林寺拳法部展示が10月7日～2月1日まで実施され、多くの学友、来訪者に少林寺拳法部の創部60年にわたる歴史と防具、大会写真、トロフィー、教範等の展示物等をご覧頂きました。歴史的な展示物をご提供頂きました会員の皆様方には感謝申し上げます。

2022年度は、10月9日に創部60周年記念式典を予定しておりますが、現状では厳しい局面となる可能性もあり慎重に準備を進めて参りたいと思います。2022年度方針は以下の通りです。稲門会運営に本年度もご協力、ご支援を宜しくお願い致します。皆様、時節柄くれぐれもご自愛専一の程、祈念申し上げます。 結手

<2022年度方針>

1. 現役部員支援活動を着実に履行する：
 - ・現役幹部（今年は3名）との対話を継続し、色々な課題への支援を行う
 - ・特に新人部員獲得については、有段者、未経験者を含めた部員の確保に向け、主将との情報交換を密にし、SNS、対面募集推進等募集方法の相談、助言活動を行う
2. 「創部60周年記念式典」の開催と「拳友誌」発行：
 - ・コロナ禍の状況を見極めながら、稲門会の連携を図り、開催に尽力する
 - ・「拳友誌」は、開催の有無に関わらず会員の皆様から多くの寄稿を頂き発刊する
3. 「稲門会名簿」の更新、「早稲田スポーツ名鑑」への会員情報登録：
 - ・電子メールを中心とした会員への情報連絡網を整備する
 - ・早稲田スポーツ（体育各部）OBOGを検索・表示するシステム「スポーツ名鑑（写真掲載）」を立ち上げる

以上